

## 令和5年6月第3回神石高原町議会定例会

第3回定例会は、6月14日(水)から23日(金)まで開かれました。6月補正予算や工事請負契約の変更など15議案を審議し、原案のとおり可決しました。

### ★新型コロナ対策予算 5～6月 合計額

○6月補正予算額(コロナ対策)

(単位:万円)

区 分	補正前の額	5・6月補正額	6月補正の内 コロナ対策分	補正後の額
一 般 会 計	120億 7714	2億 7423	5714.2	123億 5134.4
合 計	120億 7714	2億 7423	5714.2	123億 5134.4

### <専決処分の承認>

#### ○町税条例の一部改正 議案第83条

- ・個人住民税 記載の簡素化(税率関係なし)  
森林環境税、森林環境譲与税の令和6年課税開始規定整備  
肉用牛売却事業所得、優良住宅地造成に資する土地譲渡所得の課税特例の延長(3年)
- ・固定資産税 改正に伴う規定の整備
- ・軽自動車税 新規区分としての特定小型原動機付自転車-税率2,000円  
グリーン化種別割(▲75%軽減)の3年間延長
- ・たばこ税 申告に伴う改正

#### ○職員給与条例の一部改正 議案第84条

- ・新型インフルエンザ感染症の5類変更に伴う、町職員防疫作業手当(特殊勤務手当)の廃止

○5月補正予算 議案第85号

令和5年5月一般会計補正予算5月専決分)			
(単位:万円)四捨五入			
費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	0	8064	
総務費	0	25億6123	
民生費	5714	26億3527	子育て世帯生活支援729、電気ガス食料品高騰支援4985
衛生費	0	17億9738	
農林水産費	0	10億0243	
商工費	0	1億1624	
土木費	0	7億4322	
消防費	0	4億3808	
教育費	0	10億4431	
災害復旧費	0	4	
公債費	0	12億8472	
諸支出金		3億3358	
予備費		4000	
合計	5714	120億7714	

\* 新型コロナウイルス感染症関連対策として、国庫支出金を財源に子育て世帯生活支援特別給付金給付事業を追加したものの。

【条例制定及び一部改正の主なもの】

<工事請負契約の変更> 議案第86号

	変更後	変更前
工事名	共同調理場管理運営経費 三和給食共同調理場改修工事	同左
工事場所	神石高原町小島1895	同左
請負金額	82,891,600円	79,640,000円
請負者	株式会社 武田組	同左
工期	議決翌日～R6. 3. 31日	同左

\* 6月1日 仮契約。

**【条例制定及び一部改正の主なもの】**

**＜工事請負契約の変更＞ 議案第87号**

	変更後	変更前
工事名	共同調理場管理運営経費 三和給食共同調理機器改修工事	同左
工事場所	神石高原町小島1895	同左
請負金額	104,281,100円	102,850,000円
請負者	株式会社 武田組	同左
工期	議決翌日～R6. 3. 31日	同左

**＜工事請負契約の締結＞ 議案第88号**

工事名	小学校体育館等管理運営経費 神石小学校体育館改修工事
工事場所	神石高原町福永7798-2
請負金額	65,850,840円
請負者	住所 福山市南蔵王町1-2-25 氏名 株式会社 道下工務店
工期	議決翌日～R5. 12. 28日

\* 財源 過疎債

\* 入札日 R5. 4. 26 指名競争入札(指名12社 辞退6社) 落札率 92.0%

**＜町条例の読点の表記を改める条例の制定＞ 議案第96号**

○読点の表記を、「, 」から「、」に改める。

\* 令和5年7月1日から施行する。

---

**【議員発議】**

方財政の確立を目指すよう、求める。

提出者 柏床 由夫

賛成者 横山 素子

---

和5年6月補正予算(一般会計)

令和5年6月一般会計補正予算			
(単位:万円)四捨五入			
費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	71	8135	
総務費	731	25億6854	普通財産管理(旧三和民俗資料館)171、庁舎管理(油木・神石支所)424、宝くじ(上振興区)250
民生費	4791	26億8318	高齢者福祉施設(Fさんわ)1762、老人ホーム入所179、放課後児童運営(豊松、来見館).168、生活保護64
衛生費	3048	18億2786	予防接種(新型コロナ)3410、飲料水確保143、省エネ家電購入支援725、太陽熱温水設置支援275、病院会計補助1193、デジタル技術環境向上1526
農林水産費	▲ 293	9億9950	地域計画策定367、農産物販売施設管理(182ST)58、農業振興対策▲473、畜産施設整備50、森林管理推進(仙養ヶ原ふれあいロード)1873
商工費	6922	1億8546	商工会育成(町内ガソリンスタンド)5090、観光事業78、自然公園管理(スコラコスモドーム)4814
土木費	1477	7億5799	町道維持補修(光信古道、西道ダム)2000、社会資本整備交付金300
消防費	219	4億4027	消防水利補修163、豪雨災害対策30
教育費	5539	10億9970	小・中・高校教育支援(通学バス運賃)336、社会教育施設管理125、保健体育施設管理(三和野球場、三和多目的広場)4814
災害復旧費	4719	4723	現年発生道路橋梁復旧4719
公債費	0	12億8472	
諸支出金	199	3億3557	保健医療福祉支援基金積立200
予備費		4000	
合計	27423	123億5137	(主な歳入) 県支出金(デジタル、ネウボラ、▲農地集積)1126、財産収入18、繰入金4361、繰越金3022、諸収入(宝くじ、スポーツ振興助成)1775、町債(過疎70、合併債2920、災害復旧2380)5370

【令和5年度6月補正予算】 <令和5年度予算会計別総括表>

令和5年度予算会計別総括表						
単位:万円(四捨五入)						
会計名		R5年度			摘要	
		当初予算額	6月補正	6月補正後予算		
一般会計		120億2000	2億7423	123億5137		
特別会計	国民健康保険	9億3850	610	9億4460	財政調整基金積立857	
	後期高齢者医療	3億8790	205	3億8,995	広域連合納付金12、繰入金147	
	介護保険	18億6790	5121	19億1,911	基金積立3070	
	内訳	保険事業勘定	18億5100	5121	19億0,221	基金積立3070
		介護サービス事業勘定	1690		1,690	
	飲料水供設事業	4170	200	4,370	施設維持344	
	農業集落排水事業	2億1780	620	2億2,400	施設維持620	
	分収育林事業					
	総合開発事	1320		1,320		
	特別会計計	34億6700	6755	35億3,455		
病院事業会計		4億9379	1193	5億0,572		
内訳	資本的支出	3138				
	収益的支出	4億6241	1193			
合計		159億8079	3億5372	163億9165		
特別会計+病院事業会計		39億6079		40億4,027		

○第3セクター営業報告

令和4年度第3セクター販売高

単位：万円(四捨五入)

会社名	売上	税引前当期損益	町補助委託金
(株)神石高原農業公社	5,999万円	54万円	1,050万円
(株)帝釈峡スコラ	6,365万円	▲102万円	2,174万円
(有)さんわ182ステーション	6億4,927万円	169万円	2,393万円

(有)さんわ182ステーション



さんわ182ステーション売上明細表

単位：万円

	R4売上高
市場売上高	4億0,484
フードコート売上高	2,910
自販機売上高	433
その他売上高	164
ローソン売上高	2億0,611
加工品売上高	325
合計	6億4,927

(株)神石高原公社



(株)帝釈峡スコラ



第3セクター合計



<span style="color: blue;">—</span>	総収益 (売上+補助金など収入)
<span style="color: red;">—</span>	総費用 (売上原価+一般管理費+営業外費用)
<span style="color: green;">—</span>	売上高

農業公社 運営補助金 500 万円、ライスセンター屋根修理補助 550 万円  
 スコラ 管理委託料(運動公園、スパイス館、ハーブ館等)882万7千円  
 補助金収入(雇用調整助成金 1,291 万 2 千円など)

**182ステーション**

雑収入(町燃料高騰支援補助 50 万円、指定管理料 182ST 254 万円、  
 とまと G92 万円、百彩館トイレ 50 万円)  
 エブリイ集荷手数料 149 万円(4,966 万×3%)、食堂・観光協会共益費 92 万円、  
 PayPayキャンペーン 76 万円、  
 町助成金収入(エブリイ集荷業務委託費 1,028 万 9 千円)  
 特別町補助金(ラベルプリンタシステム変更 97 万 9 千円、集荷用トラック修繕 52 万円、ご  
 み箱購入 12 万 1 千円、百彩館民営化再生協議会 39 万円、百彩館運営補助 50 万  
 円、百彩館閉店後管理経費 200 万円)

**一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金**

(単位:円)

神石高原地域創造チャレンジ基金			
R4.4.1	期首正味財産(一般)	3,000,000	
	期首正味財産(指定)	14,074,722	17,074,722
R4.4.1~R5.3.31	収益総額(一般)	7,518,439	
	経常費用総額(一般)	7,447,439	17,145,722
		71,000	
R4.4.1~R5.3.31	法人税・住民税・事業税	-71,000	17,074,722
	指定正味財産増減額		
	指定受取寄付金	8,000,000	
	指定受取補助金	2,506,300	
	一般正味財産へ振替	-7,518,114	2,988,186
			20,062,908
R5.3.31	期末正味財産(一般)		3,000,000
	期末正味財産(指定)		17,062,908
			20,062,908

※収益総額(一般)には、指定財産収益からの7,518,114円を含みます。

神石高原地域創造チャレンジ基金(B/S)		(R5.3.31)	
現金預金(一般)	1,089,982	未払金	1,026,496
未収入金	2,506,300		
仮払金	26,870		
現金預金(特定)	16,229,738	預り金	63,486
投資有価証券		長期借入金	90,000,000
<投資株式>			
1社	20,000,000		
<私募債>		正味財産	
	713,000,000		
8社		正味財産(一般)	3,000,000
		正味財産(指定)	17,062,908
合計	111,152,890	合計	111,152,890

### 「(有)さんわ182ステーション」

設立、役員については変更なし。株主は逝去により1名減。

決算状況は、当期純利益、繰越利益剰余金ともに黒字決算となった。

182CAFE や高原の風は、コロナ禍の外出控えなどで厳しい状況が続き、加えて電気。ガスの異常高騰が続き経営を圧迫したが、油木百彩館の閉店を決定し、経営のスリム化を図った。

総売上高は、前年対比114%、額で8,458万円の増となった。

来客数も、46万9,944人と、前年比7万1千人余りの増となった。

自然食レストラン「高原の風」も16,608人と前年比5,324人の増となり、弁当事業への尽力もあり最終売り上げが3,943万円と前年比127.1%と増加したが、材料費や光熱水道費などの高騰により厳しい経営状況が続いている。

ローソンの売上高は、前年比4,900万円あまりの131.2%の増となった。

売上高から売上原価・販売管理費を差し引いた、当期の営業損失は、1,166万8千円となったが、損失額は昨年より774万円の減額となっている。

町補助金や国のコロナ支援給付金などの営業外収益により、当期末の利益剰余金は、2,231万3千円の黒字決算となっている。

### 「(株)帝釈峡スコラ」

株式総数、町保有株数、株式額面、役員の変更はなし。

決算状況は、当期純利益は赤字となり繰越利益においても過去の赤字を埋めることは出来ず、最終決算は赤字決算となった。

今期の売り上げは、雇用調整助成金などの適用により前期より163.9%増の6,365千円となり経営が維持できた。

観光部門もコロナ禍前ほどの回復には至らなかった。

レトルト商品販売は、「楽天市場」で、「幻の神石牛カレー」と「神石高原ポーク」ギフトセットがリアルタイムランキングで1位を獲得し、12月には売上1,280万円と順調に伸びており、販売促進に繋がっている。

スコラ高原の利用客は、昨年対比124.2%増の81,274人と大幅に増加している。

総売上高の大幅増加部門は、「宿泊施設利用料」前年対比246.7%増の1,132万円。

この数年コロナ禍で行っていなかったイベントも再開し114万円の売り上げを確保した。

利用客も回復しつつあるが、電気代や仕入れ価格の大幅高騰により、令和4年度の税引き前当期純損失が102万円となり、年度末繰越利益剰余金は513万8千円のマイナス決算となった。

### 「(株)神石高原農業公社」

株式総数、町保有株数、株式額面、株式相学の変更はなし。

役員は、取締役2名が辞任、新たに2名選任。後任が代表取締役に就任(瀬尾明彦氏)。

当期は、純利益・繰越利益剰余金ともに黒字決算となった。

作業実施面積は、やや増加傾向。

売上高は、前年対比415万円減、93.5%の売り上げとなった。大きな減少は、公共施設管理収入357万2千円、農業生産事業収入(町道草刈り・穴埋め・陰樹伐採)239万円の減。

修繕費の増額は、ライスセンター屋根の施設維持費。給料手当、福利厚生費の減は、職員1名の退職による。

売上高から販売管理費を差し引いた当期営業損失は、1,076万1千円となり昨年対比671万円程度の損失増となっている。

補助金収入により、当期純利益24万5千円を確保できた。当期末の繰越利益剰余金は1,226万5千円となった。

#### 「(一般財団法人)神石高原地域創造チャレンジ基金」

上半期と下半期に各1回、計2回の募集を行い、ともに1件、1千万円の申し込みがあったが、事業計画内容の検討の結果、いずれも支援決定に至らず、令和4年度は新たな支援決定は無かった。

償還の実行状況は、5件あり、順調に計画償還されている。

「運営に係る経常経費」の財源は、直接寄付、ふるさと納税が主となっている。

事業開始し本年度で6年が経過することになるので、新たな取り組みとして、これまでの成果を総括し、生み出してきた価値を振り返る「インパクトフォーラム(仮称)」を開催し情報公開の予定。